

文部科学省「イノベーション経営人材育成システム構築事業」
大学トップマネジメント研修
募集要項

2017 年 3 月 22 日

政策研究大学院大学

科学技術イノベーション政策研究センター

1. 趣旨

本研修は、我が国の大学が有する知的資産の活用によるイノベーション創出に向けて、多様な学問領域から構成される複雑な大学組織全体をマネジメントすることのできる経営人材を育成するものです。

2. 育成される人材のイメージ

諸外国の先進的な大学マネジメントの在り方や我が国の大学組織の特性に深い見識を有し、学内外の多様なステークホルダーを巻き込みつつ、大学の経営戦略・財務戦略の策定、産学連携のマネジメント、知的財産の適切な管理等を効果的に実施し、大学の経営力を強化することのできる現役または次世代の大学幹部

3. 研修内容

本研修は、「A. 国内プログラム」と「B. 海外プログラム」より構成されています。

研修参加者は、これらのプログラムを通じて、大学経営人材として必要な知識や知見を身につけるとともに、自身の経験と問題意識に基づいた大学の経営・マネジメント上の課題について発表・討議を行い、大学の経営力強化に結びつく具体的方策を検討することが求められます。

A. 国内プログラム（年 4 回、各 3 日間程度）

国内の学長経験者、産業界関係者及び有識者による講義、海外から招へいするユニバーシティ・リーダーズとのワークショップ等を通じて、大学の戦略的なマネジメントを遂行する際に必要な基礎的な知識（大学の経営戦略論、財務会計論、産学連携マネジメント論、知的財産権論、教育研究評価論等）を提供するとともに、参加者の問題意識や経験を共有するための機会を提供します。

※2016 年度国内プログラム講師陣については、参考 1 をご参照ください。

B. 海外プログラム

カリフォルニア大学サンディエゴ校研修（年 1 回、約 1 週間）

公的資金の削減という環境下で先進的な大学経営を行っているカリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）において、「公的資金が減少する中、如何に大学は教育研究活動を展開し、イノベーションを促進していくのか」をテーマに、UCSD の実際の取組みを担当者から学ぶ約 1 週間程度の海外研修プログラムを実施します。米国のトップ研究大学の現場

で大学マネジメントを学び、現地の大学関係者とネットワークを構築する機会を提供します。

＜UCSD 研修で扱うテーマ例＞

- ・ UCSD の戦略計画・財務戦略、産学連携と技術移転、寄付募集戦略等

※内容は変更の可能性があります。

この他、研修参加者の一部を対象として、米国等海外の研究大学のプロボストオフィスの会議等にオブザーバーとして参加し、実際の大学経営の現場を経験する短期インターンシッププログラムを実施する予定です。(数日～1週間程度、年数回予定。詳細は調整中)

※2016年度短期インターンシップ派遣先については、参考1をご参照ください。

4. 研修日程（※日程は変更の可能性があります）

- ・ 第1回国内プログラム 場所：政策研究大学院大学（六本木）
2017年6月2日（金）15時00分～18時00分
2017年6月3日（土）10時00分～18時00分
2017年6月4日（日）10時00分～16時30分
- ・ 海外プログラム 場所：カリフォルニア大学サンディエゴ校
2017年8月21日～9月1日の間で約1週間程度（予定）
- ・ 第2回国内プログラム 場所：政策研究大学院大学（六本木）
2017年10月を予定
- ・ 第3回国内プログラム 場所：政策研究大学院大学（六本木）
2017年12月を予定
- ・ 第4回国内プログラム 場所：政策研究大学院大学（六本木）
2018年2月を予定

※この他、海外大学への短期インターンシッププログラムを一部参加者に実施予定

5. 募集人数・研修期間

25名程度、1年間

※審査基準に満たない場合、募集人数に達しない場合がございます。

※※海外プログラムについては、受入相手先の事情により、国内プログラム参加者の中から参加者を選定する可能性があります。

6. 応募条件

- ・ 国立大学に所属する者
- ・ 所属大学の学長の推薦を受けた者とし、組織としての応募であること
- ・ 参加者本人が国立大学の経営の中核を担う人材としてのキャリアを強く意識していること
- ・ 所属大学も被推薦者が将来大学の要職に就くことを期待し、本プログラムに参加することを

組織として最大限支援（学内委員会等用務の免除・軽減、教育研究業務履行のための人的支援、研修修了後の人事計画等）すること

- ・ 研修修了後も、参加者本人が参加者のネットワーク構築のための研修報告会等に参加し、組織としてもこれを支援すること

7. 費用負担

原則、プログラム参加者の国内外の移動・滞在等に必要な旅費・宿泊費等の経費は、プログラムの参加者の所属大学に負担して頂きます。

8. 提出書類、提出方法

提出書類：

- ①参加申請書【様式1】
- ②申請者情報及び教育研究業績書【様式2】
- ③志望理由書【様式3】
- ④所属大学の学長による推薦状【様式4】

提出方法：

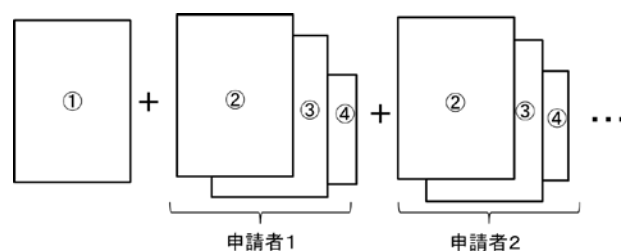
提出期限までに、紙媒体及び電子媒体を提出すること。

<紙媒体（郵送にて提出）>

提出にあたっての注意事項：

- 1) 複数名申請する場合は、提出書類②～④は申請者毎に作成ください。

提出の際は、①を一番上にして、①の名簿順に②～④をまとめてご提出ください（下図参照）。



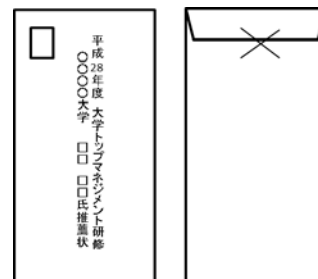
- 2) 提出書類④は、申請者の所属大学長が記入・捺印の上、封筒に入れ封をして提出ください。

その際、封筒の表に、

「平成 29 年度大学トップマネジメント研修

〇〇大学（大学名） □□ □□氏（申請者名）推薦状」

と記載ください（右図参照）。



<電子媒体（E-mail にて提出）>

提出にあたっての注意事項：

- 1) 提出書類①～③は、提出先宛に電子媒体でも送付してください。（PDF あるいは Word での提出をお願いします。押印は、無くても構いません。）
- 2) 送信メールの題名は、研修名及び応募機関名称としてください。
（例）大学トップマネジメント研修（〇〇大学）
- 3) 添付ファイル名は応募する応募機関名称と様式番号としてください。
（例）（〇〇大学）様式X
- 4) 受領通知は、紙媒体を受取次第、様式1の連絡先に対してメールにて返信します。

締め切り： 提出書類①～③（電子媒体） 2017年4月14日（金）※必着

提出書類①～④（紙媒体） 2017年4月17日（月）※必着

提出先：

〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター（SciREX センター）

イノベーション経営人材育成システム構築事業

「大学トップマネジメント研修」事務局宛

E-mail : ttm-ml@grips.ac.jp

9. 募集・選考日程等

応募期間：公募開始日～2017年4月14日（金）

選 考：2017年4月中旬～5月中旬予定

※必要に応じ5月15日の週に都内にて面談を実施する場合がございます。

結果通知：2017年5月中旬予定 ※選考結果に関する個別の照会にはお答えしません。

10. 審査基準

- 1) 申請者本人が大学のマネジメントに携わった経験があり、かつ、大学の経営・マネジメントについて、具体的な問題意識を有していること
- 2) 大学経営人材としての具体的なキャリアプランを有していること
- 3) 研修修了後に、学内での研修やセミナー等で成果を発表するなど、本研修で得た成果を活用する具体的な計画を有していること
- 4) 大学として、研修参加者に対し、研修修了後の大学経営人材としての具体的なキャリアイメージを有していること

11. その他

- ・ 研修期間は1年間です。次年度は別途新規に参加者を募集いたします。
- ・ 国内プログラム公開セミナーや国際シンポジウムにおいて、海外プログラムの報告などをお願いする場合があります。

- ・ 悪天候、渡航先の政治、治安等のやむを得ない事情により、プログラムの日程・内容が変更になる場合があります。
- ・ 外国人講師による研修は英語での講義とディスカッションになります。公開セミナー等の一部を除き、通訳は手配しませんので、あらかじめご了承ください。

12. お問い合わせ先

〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター (SciREX センター)

イノベーション経営人材育成システム構築事業「大学トップマネジメント研修」事務局

TEL : 03-6439-6376 Fax: 03-6439-6260

Email: ttm-ml@grips.ac.jp

2016 年度国内プログラム講師陣及び短期インターンシップ派遣実績

1. 国内プログラム講師陣一覧（敬称略）

- ・ 有本建男（政策研究大学院大学教授）
- ・ 安西祐一郎（日本学術振興会理事長、中央教育審議会会長、元慶應義塾長）
- ・ 上山隆大（内閣府総合科学技術・イノベーション会議常勤議員）
- ・ 菅裕明（東京大学大学院理学研究科化学専攻生物有機化学教室 教授、ペプチドリーム株式会社社外取締役）
- ・ 濱口道成（国立研究開発法人科学技術振興機構理事長、元名古屋大学総長）
- ・ 林隆之（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構教授）
- ・ 藤原洋（株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO、一般財団法人インターネット協会理事長、SBI 大学院大学副学長・教授、慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授、京都大学宇宙総合学研究ユニット特任教授、豊橋技術科学大学客員教授）
- ・ 宮内忍（宮内公認会計士事務所、公認会計士）
- ・ 宮本岩男（資源エネルギー庁放射性廃棄物対策技術室長／広報室長）
- ・ 山本貴史（株式会社東京大学 TLO 代表取締役社長）
- ・ 渡部俊也（東京大学政策ビジョン研究センター教授）
- ・ Mary Walshok 氏（Associate Vice Chancellor for Public Programs and Dean of Extension at the University of California San Diego）
- ・ Jonathan Cole 氏（John Mitchell Mason Professor of the University, Provost and Dean of Faculties, Emeritus - Columbia University）
- ・ Tan Chorh Chuan 氏（President of the National University of Singapore）

2. 短期インターンシップ派遣先

- ・ シカゴ大学
- ・ シンガポール国立大学